

すえつぐ精一
後援会会報

まっすぐ通信

第7号
令和6年7月1日発行

ごあいさつ

前衆議院議員 末次精一



末次精一です。昨年10月の補欠選挙で敗れて後、捲土重来を果たすべく日々活動を重ねております。今後も皆さまのご指導・ご鞭撻をよろしくお願いたします。



まったく懲りない自民党

パーティー券のキックバックによる自民党の裏金問題が発覚したことを受けて始まった2024年の通常国会でしたが、成立した改正政治資金法は、全く反省を感じない内容でした。そもそも、この裏金問題は、派閥のパーティーで得た寄付金を派閥の収支報告

書に記載せずに、所属する各国会議員に配り、受け取った国会議員も同様の記載を行っていなかったということですが、当然、法律で義務化されている収支報告書の未記載があれば、記載を行っていないことが国会議員は罰せられたり、そもそもパーティーは廃止するなどの再発防止策を講ずるべきであったと思いますが、提示された改正内容はパーティー券の購入者の開示義務を20万円以上から5万円以上に変更しただけという、まさにお茶を濁しただけに終わりました。

国民には納税や法律を守る義務を厳しく科している一方で、当の立法者が労せず大金を懐へ入れ、脱税や法律を破っていたことに悪びれることさえない自民党。この法案に賛成した公明党や日本維新の会も同じ穴の貉(むじな)でしょうが、国民の厳しい声に懲りていないばかりか耳を貸そうともしていません。裏金問題は、今後も、間違いなく形を変えて国民の目の届かないところで、これからも起こり続けると思います。政治不信がますます増される今回の対処に、虚しさや憤りを感じざるを得ません。

町が消える？

2024年4月に、「人口戦略会議」は全国の自治体(市町村)で、2050年までに20代から30代の女性が半減し、最終的には消滅する可能性があるとした分析を発表しました。私が立候補を予定している新長崎3区に入る自治体では、平戸市、松浦市、五島市、西海市、東彼杵町、小値賀町、新上五

島町が含まれています。まさに、わが町が消えてなくなることが現実として起こるのです。他にも、人口流出を食い止める「社会減対策」が必要と指摘された自治体に、佐世保市、波佐見町、佐々町が挙げられました。長崎3区のほとんどの自治体が人口減少の大波に飲み込まれることになりそうです。

実際、人が減ることで私たちの暮らしがどうなるのかは、すでに皆さまも日常の中で感じられていることだと思います。先日、私が深夜の仕事帰りにたまたま利用させていただく24時間のチェーン店が23時までの営業に変更されていました。理由を聞いてみると、深夜の時間帯の人がいなくなり、時給1500円で募集しても人が来ないからということでした。

今後ますます経済の規模は小さくなり、豊かさは低下していきます。人手不足によりお店が開けられないだけでなく、荷物が届かない、介護サービスが受けられない、道路は直らず穴だらけになるなど、さまざまな地域サービスへの影響が予想されています。

皆さま、ご存知でしょうか。こうした普通の日常が損なわれ始めているのも、数十年前から予測されていた問題を先送りしてきた自民党政権の怠慢なのです。もう遅きに失していると思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、かといって我々は日常生活を、諦めるわけにはいきません。一刻も早く、政治は皆さまの生活から逃げることなく、正面からまっすぐに取り組み直すべきです。私はその先頭に立つ覚悟を決めています。

すえつぐ精一プロフィール

1962年佐世保市大宮町生まれ。

●学歴

藤原幼稚園、福石小学校、八幡小学校、清水中学校、青雲高等学校、京都大学工学部、長崎大学大学院経済学研究科経営学修士(MBA)コース



●職歴

旧・川崎製鉄(現JFEスチール) NPO法人ハッピーワーク(就労継続支援B型事業所)理事長



●政治歴

衆議院議員小沢一郎秘書、長崎県議会議員(2期)／議会運営委員長を務める、衆議院議員(1期)／経済産業委員会、国土交通委員会に所属



●スポーツ歴

サッカー(旧・川崎製鉄 社会人サッカー部に所属、新極真空手(長崎県大会に出場))

活動報告① 朝のごあいさつ

早朝より、選挙区内の各地に立って、行き交う車にご挨拶させて頂いておられます。この朝立ちは20年前から続けておりますが、「今日も一日、共にかんばりましょう！」という思いと、少しでも政治に関心を持ってもらいたいという思いから、手を振り続けてまいりました。

最近是有難いことに、ご支援の皆さまより、「一人で立つより、皆さんで立つよう！」と、一緒に立つて頂くこともございます。

皆さま、お見かけの際は、笑顔の応援を何卒よろしく願います！



活動報告② 意見交換会開催

去る6月21日、松浦市において意見交換会を開催しました。冒頭30分で、私から一次産業を中心とする松浦市の課題とその解決策の一案をお示しし、その後1時間にわたり参加者の皆さま

から様々なご意見やご質問を頂戴しました。

私はこれまで一貫して、「現場に足を運び、現場の声を聞き、その課題を確実に解決に導くことを信条としてまいりました。今回頂きましたお声も、しっかりと受け止め、責任を持って前に進めてまいります。

今後も同様の意見交換会を各地で開催する予定です。SNSでもお知らせいたしますので、お近くで開催の際は、是非お気軽にご参加ください！



観光振興シンポジウム に登壇

4月6日と5月19日は、佐世保市の一般社団法人地域インバウンド振興協会（代表理事三津川真紀）が主催する「長崎観光振興シンポジウム」に、前回に続いてファシリテーターとして登壇させて頂きました。

4月6日は、「医療・健康×観光で健康長寿国ニッポンを世界に発信する」というテーマにて、基調講演に医療法人祥仁会理事長である千葉憲哉氏をお迎えしました。

5月19日は、「地域金融×観光で外貨を呼び込み、地域が稼げる長崎をつ

くる」というテーマにて、基調講演に前・セゾン投信株式会社代表取締役会長CEOである中野晴啓氏をお迎えしました。また、パネルディスカッションでは、株式会社十八親和銀行常務執行役員である艶島博氏も加わり、地域金融と観光振興による新たな東北の発展についてディスカッションを行いました。両日とも100名を超える参加者の皆さまにお集まり頂き、また取材にも入って頂き、佐世保市を中心とする県北地域の観光振興に対する関心の高さを改めて感じました。引き続き、地域の観光振興のために全力を尽くします！



空き家相談会のお知らせ

毎月2回開催しております「空き家相談会」のお知らせです。

私は、衆議院では国土交通委員会に所属し、特に住宅政策には注力して取り組み、その中でも「空き家・空き地問題」には専門的に関わってきました。その経験を活かし、地元の皆さまのお困りごとに少しでもお役に立ちたいという思いから、毎月、個別の無料相談会を実施しています。皆さまのご相談は、私、末次精一が直接お話を伺い、自治体や関係事業者の皆さまと連携して、問題解決に努めます。

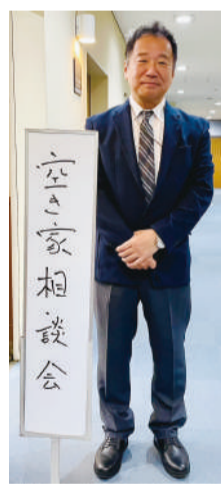
7月8月は以下の日程で行いますので、お気軽にご相談ください。

- 7月28日（日） 13時～17時 29日（月） 18時～21時
- 8月18日（日） 13時～17時 26日（月） 18時～21時

*相談料は無料です。一組あたりのご相談時間は30分です。

*場所はいつでも、末次精一事務所（佐世保市俵町6-21）です。

*予約制ですので、事前にお電話（0956-24-8080）の上、ご予約ください。



障がいをお持ちの方に 働く場を提供

末次精一が理事長を務める、NPO法人ハッピーワーク（就労継続支援B型事業所）のご紹介です。当事業所は、仲良く・楽しくをモットーに、創業11年目を迎えました。利用者さんお一人お一人の個性と人間関係を大切にしています。現在、利用者さんを募集しています。障がいや体調にあわせながら、就労を通じて利用者の皆さまのハッピーな暮らしをサポートできればと思っております。お気軽にご相談ください。



電話：0956-767016
住所：佐世保市城山町6-18

お手伝いをお願い いたします！

「人は石垣、人は城」これは、「風林火山」の軍旗で有名な戦国時代きつての名武将、武田信玄の言葉です。「人は、石垣や城と同じくらい、戦（いくさ）の勝敗を決するのに大切だ」という意味です。

選挙も戦によく例えられますが、私の選挙は、暮らしのための政治を取り戻す、まさに既得権・利権との戦いです。今秋には解散総選挙が行われるとの見通しもある中、次は必ず生活者の代表として勝利し、「長崎から政治を変える」第一歩を踏み出したいという強い覚悟と気持ちでおります。

しかし、私の力では未熟でありまして、まだまだ「人」が足りておりません。戦いはもう始まっています。ご支援いただく皆様には更にご負担をおかけしますが、お手伝いいただける方はぜひご協力をお願いいたします。

お手伝いの内容は、単純な労務、運転、電話かけ、事務所の留守番などですが、まずはすえつぐ精一事務所（電話0956-37-3535）までご連絡ください！お待ちしております！

連絡先

【佐世保事務所】
〒857-0016
長崎県佐世保市俵町6-21
電話 0956-37-3535
FAX 0956-24-4811

